

幕末の儒学者「佐藤一斎」は、その語録「言志四録」の中で、「人の一生遭う所には、険阻あり、坦夷あり、安流あり、驚瀾あり」と、表現しています。人生山あり谷あり、平坦な道ばかりはない。なぜなら、「これ気数の自然にして、竟に免る

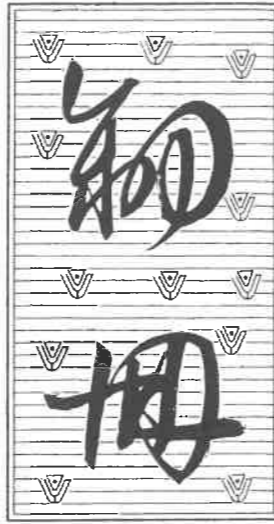
会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨今は、地球温暖化を感じるような酷暑や大雨、それに伴う生鮮品などの物価高など、想定外のこと頻りに起ります。一方で、新たな技術や知識も生まれ、多くの人や情報が行き交う、難しい時代といえるでしょう。



翔朋会会長

## 人生は波瀾万丈。其れもまたよし。

及川佳洋



第40号

令和6年9月13日

発行 宮城県多賀城高等学校同窓会 翔朋会

「人生は波瀾万丈。其れもまたよし。」と、それを避けることが良い、達人にはなれない。というので、デイズニールランドやU.S.J.では、絶叫したり、どきどきしたり、いろいろ面白いエクシジョンがあるからこそ面白いのです。しかしながら、人の人生は、その何倍もスリリングで、面白い。変化と困難に満ちあふれています。だからと言って、緊張して肩に力を入れて構えていても楽しめないでしょう。「デイズニールランドに遊びに来た」ぐらいの気持ちでいれば、

変化を楽しむことが良い、それを避けるようにするならば、達人にはなれない。というので、デイズニールランドやU.S.J.では、絶叫したり、どきどきしたり、いろいろ面白いエクシジョンがあるからこそ面白いのです。しかしながら、人の人生は、その何倍もスリリングで、面白い。変化と困難に満ちあふれています。だからと言って、緊張して肩に力を入れて構えていても楽しめないでしょう。「デイズニールランドに遊びに来た」ぐらいの気持ちでいれば、

少年の時に学んでおけばそれが壮年になって役に立って事を成せる。壮年になって学んでおけば、老年になっても心に余裕も生まれて、波瀾万丈の人生を楽しめるというものです。「一燈を掲げて暗夜を行く。暗夜を憂うること勿れ。只一燈を頼め。」

「一燈を掲げて暗夜を行く。暗夜を憂うること勿れ。只一燈を頼め。」

力・知力は衰えない。老年になつて学べば、死んでも名が朽ちることはない。死んだ後に「そんな人、いましたっけ。」などと言われたらいいですね。人だっただけ。「昔あの人がよく言っていたね。」といわれてこそ、生きた甲斐があるというものでないでしょうか。

人生は死ぬまで学びです。それによって、死後も光り輝く存在であり続けられるのなら、私はそれでありがたいと思

願っています。還暦を過ぎて、残された時間は短くなってきて、感じています。自分を感じながら、日々の出来事を楽しみながら、この先も多くのことを学び続けて、有意義な日々を過ごしたいとおもっています。

どうか皆さんも、ご自分のスリルあふれる人生を大いに楽しみ、学び、幸せな日々を過ごされたいことを、心から願っています。

題字紹介  
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

## 第46回 翔朋会総会の御案内

日時 2024年10月12日(土) 総会 15:00  
会場 多賀城高校 iRisホール

○今回の幹事学年は以下の年度の方々です。  
6 回生 (昭和60年3月卒業) 16回生 (平成6年3月卒業)  
26回生 (平成16年3月卒業) 36回生 (平成26年3月卒業)  
46回生 (令和6年3月卒業)  
それぞれ同期の方をお誘いください。  
○本年度も総会を学校施設のiRisホールで実施いたします。本校の災害科学科設置に合わせ、平成30年3月26日に竣工しました。県内高校でも類を見ない大規模な階段教室で、冷暖房・音響機器・ICT環境が整備されています。300人を収容でき、各学年集会のみならず講演会や課題研究発表会、東日本大震災メモリアルdayなどの行事や授業・課外講習に日々活用しています。デュアルスクリーンによる映像提示や高品質な音響での学習が可能です。恵まれたICT環境は約100人の生徒がiRisホール内から個別にiPadを用いてオンライン会議へ参加してもトラブルなく参加できる環境で、生徒個人がiPadを駆使して参加し、活発な意見交換やオンラインポスターセッションができるほどの高速なインターネット環境を有しています。  
※本年度は総会にオンラインで参加可能です。参加方法については多賀城高校HPに掲載いたします。

## 令和5年度 翔朋会一般会計 決算報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 収入の部 3,837,658 円
2. 支出の部 1,313,639 円
3. 残 高 2,524,019 円

1. 収入の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,080,000	1,080,000	0	2,000円×270人 卒業時入金会費 2,000円×270人 卒業時入会費
年度会費	8,000	87,279	79,279	同窓生より振込 (56名一手数料)
繰越金	1,790,472	1,790,472	0	前年度より
雑収入	28	879,907	879,879	預金利息、他会計からの寄附
合 計	2,878,500	3,837,658	959,158	

2. 支出の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	9,477	▲55,523	
会議費	20,000	6,957	▲13,043	役員会お茶等
通信費	15,000	2,520	▲12,480	切手代
需用費	30,000	0	▲30,000	
2. 事業費	1,281,000	1,004,162	▲276,838	
総会費	50,000	0	▲50,000	
会報費	300,000	254,063	▲45,937	会報印刷、HP管理委託
補助費	600,000	385,000	▲215,000	東北大会以上出場補助
記念品費	301,000	365,099	64,099	新入生校章、卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	▲30,000	
3. 予備費	1,232,500	0	▲1,232,500	
4. 繰り出し金	300,000	300,000	0	周年行事積立金として
合 計	2,878,500	1,313,639	▲1,564,861	

残 額 2,524,019 円 次年度へ繰越し

## 令和6年度 翔朋会一般会計 予算書(案)

1. 収入の部 3,875,000 円
2. 支出の部 3,875,000 円

1. 収入の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,100,000	1,080,000	20,000	2,000円×275人 卒業時入金会費 2,000円×275人 卒業時入会費
年度会費	50,000	8,000	42,000	同窓生より振込
助成金	200,970	0	200,970	インターアクトクラブ活動費・多賀城市公園愛護団体報奨金・その他寄付金等
繰越金	2,524,019	1,790,472	733,547	前年度より
雑収入	11	28	▲17	預金利息
合 計	3,875,000	2,878,500	996,500	

2. 支出の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	65,000	65,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	役員会経費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	30,000	30,000	0	コピー用紙、ファイルなど
2. 事業費	2,611,000	1,281,000	1,330,000	
総会費	50,000	50,000	0	総会補助
会報費	330,000	300,000	30,000	会報発行・発送 225,000円 HP管理委託 88,000円 他
行事等助成費	1,081,000	0	1,081,000	部活動以外の生徒活動に係る経費助成
内 生徒活動助成費	663,000	0	663,000	生徒の活動経費(校外での活動等)・公園清掃に係る消耗品購入等
内 インターアクトクラブ活動経費	418,000	0	418,000	インターアクトクラブ活動経費・メモリアルday等経費
補助費	800,000	600,000	200,000	東北大会以上出場補助
記念品費	320,000	301,000	19,000	多高校章バッチ (R7入学生) 400円×280個=112,000円 卒業証書ホルダー (R6卒業生) 700円×275人=192,500円
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	599,000	1,232,500	▲633,500	
4. 繰り出し金	600,000	300,000	300,000	50周年行事積立金として
合 計	3,875,000	2,878,500	996,500	

## 令和5年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 4,724,850 円
2. 支出の部 0 円
3. 残 高 4,724,850 円

1. 収入の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	300,000	300,000	0	周年行事のための積立一般会計より繰入
繰越金	4,424,813	4,424,813	0	前年度繰越金
雑収入	0	37	37	預金利息
合 計	4,724,813	4,724,850	37	

2. 支出の部  
令和5年度は事業なし  
残 額 4,724,850 円 次年度へ繰越し

## 監査報告

令和5年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和6年7月4日

監事 武田三弘

## 令和6年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

1. 収入の部 5,325,000 円
2. 支出の部 0 円
3. 残 高 5,325,000 円

1. 収入の部 (単位: 円)				
項目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	600,000	300,000	300,000	周年行事のための積立一般会計より繰入
繰越金	4,724,850	4,424,813	300,037	前年度繰越金
雑収入	150	0	150	預金利息
合 計	5,325,000	4,724,813	600,187	

2. 支出の部  
令和6年度は事業なし



校長 小野 敬弘



翔朋会の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動に対しご理解とご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私事になりますが、今年度末に役職定年となるため、長きに渡りお世話になりました多賀城高校勤務も最後の年となりました。遡ること二十一年前の平成十六年から十四年間、令和二年からの五年間、合計十九年間、教員生活の半分以上をこの学校で過ごさせていただきました。その間、約六千名の生徒諸君と関わる事ができましたが、仲間や先生方に対して気配りや思いやりに溢れ、素直で明るく謙虚な多高生の気質は、今も昔も変わりません。こうした生徒に囲まれての十九年間は、私にとっての宝物になりました。本当にありがとうございました。生徒の気質は変わらない十九年間でしたが、

十三年前に発生した東日本大震災は学校にとって大きな転機となりました。県教委により設置が決められた全国でも二例目となる防災系学科、「災害科学科」は平成二十八年に第一期生を迎え、以降、防災教育を軸としたESD(持続可能な教育実践)への取組が評価されてユネスコスクールへ加盟したほか、文部科学省から理系人材育成のための事業、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定も加わり、「学びのかたち」が大きく変わりました。防災学習のみならず、災害を科学的な視点から捉えた探究的な学習は、高校生活で得る経験値を大きく上げることにもつながりました。その間、学校としては試行錯誤の連続ではありましたが、この学びの変化は、普通科の生徒へも相乗効果をもたらし、すべての生徒の進路選択の幅を広げるとともに、その質も高まりました。この三月に卒業した第四十六回生の国公立大学の合格者数は、本校創立以来最高の六十九名に達したほか、過去四年の平均値でも約十五年前との比較で、ほぼ倍増の六十名に達しています。この変革期に微力ながらも関わることで、関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。あと

僅かな任期となりましたが、皆様の母校をより豊かな学び舎にできますよう、今後を担う先生方とそのバトンを託していきたいと思っております。

さて、いよいよ来年は第五十回生が入学し、再来年の令和八年度には創立五十周年を迎えます。先日第一回の創立五十周年記念事業実行委員会が開かれ、及川同窓会長始め翔朋会役員の方々にも委員としてご出席賜りました。今後、式典や記念誌、記念事業のあり方などを検討して参りますが、この五十周年事業が素晴らしいものになりますよう、翔朋会の皆さまにもお力添えいただけますようお願い申し上げます。最後に、同窓生の皆様の益々のご活躍をご祈念するとともに、今後とも本校への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

生徒の活躍

課題研究の世界大会 Global Link Singapore 2024 に参加して

三浦世那 山本 陸

私たちの課題研究では、東日本大震災当時の被災状況を伝承するための活動として、「津波伝承まち歩き」を行いました。しかし、この活



動には、津波の速さや到達地点などを言葉だけで伝えることが難しく、また、現地に参加できる方々に限られてしまふという課題がありました。そこで、Googleマップを活用して津波の水位変化を視覚的に示すシミュレーションを作成し、多賀城市の3Dモデルを構築することで、仮想空間上での「津波伝承まち歩き」を実施しました。これにより、津波の脅威をよりリアルに感じられるようになり、震災を経験していない世代にも災害の恐怖を伝えることができ、防災意識の向上に貢献しました。

この研究は、三月下旬に開催された中高生国際科学アイデアコンテスト「つくはScience Edge 2024」に参加し、「オーラル特別賞」と「アイデア賞」を受賞しました。これを契機に、アジア各国から中高生が集まる課題研究の世界大会「Global Link Singapore 2024」にも参加することができました。この大会では、様々な国の研究発表を聞く機会があり、さらに海外の参加者との交流を深めることができました。私たちの研究は、他国の専門家に聞いてもらうことで、災害が少ない国々にも日本で起こった震災の脅威を伝え、防災・減災の重要性を発信する機会となりました。また、サマリーセッションでは、生徒同士がポスターを用いて直接プレゼンテーションを行い、様々な国の発表や意見交換を通じて、多角的な視点からのフィードバックを得ることができました。この経験を通じて、異なる国の人々との交流を通じ、異なる視点や価値観を得て、より良い研究成果に繋げることを学ぶことができました。今回の経験を活かし、今後も多様な視点を取り入れながら、防災活動や研究活動に生かしていきたいです。

令和5年度事業報告

令和5年 6月10日(木) 第1回役員会 会報発行
9月21日(木) 第2回役員会
9月8日(金) 第45回翔朋会総会
10月14日(土) 第3回役員会
令和6年 2月20日(月) 翔朋会入会式(第46回生)
2月28日(月) 翔朋会入会式(第47回生)

令和6年度事業計画(案)

令和6年 7月4日(木) 第1回役員会 会計監査
9月13日(金) 会報発行
9月20日(金) 第2回役員会 18時
10月12日(土) 第46回翔朋会総会
令和7年 2月13日(月) 第3回役員会
2月29日(木) 翔朋会入会式(第47回生)

今年度の異動

★退職者
境 秀紀 非常勤講師
櫻井 直至 非常勤講師
山崎 高嗣 非常勤講師
小林 拓世 非常勤講師
柏原 思 非常勤講師
★転出者
嶺岸 賢 教頭 利府支援学校富谷校
畠山 健 教諭 大河原産業高等学校
大堀 和人 教諭 仙台第一高等学校
鈴木 涼子 教諭 支援学校女川高等学校
松尾 碧 教諭 登米総合産業高等学校
東館 拓也 教諭 仙台第二高等学校
木村 智宏 教諭 総合教育センター
遠藤ゆきえ 養護教諭 塩釜高等学校
堀内 正巳 副参事 事務室長 工業高等学校
齋藤 有美 主幹(司書) 宮城第一高等学校
只野 聡美 主査 利府高等学校
大庭 璃々 臨時の任用職員(欠員代替講師)
★昇任者
阿部 美歩 主幹(事務次長)

★転入者

伊東 秀輝 教頭 聴覚支援学校
加藤 紀子 教諭 名取北高等学校
内田 由紀 教諭 白石高等学校
三塚ひろみ 教諭 登米高等学校
津守 大智 教諭 涌谷高等学校
直井 綾花 教諭 名取高等学校
大友 ゆり 養護教諭 農業高等学校
石山和歌子 実習講師 名取高等学校
佐藤ひろみ 事務室長 福利課
高橋ひろみ 主幹(司書) 仙台三枝高等学校
加藤 葵 主事 石巻西高等学校
千葉 優海 臨時の任用職員(欠員代替講師)
渡邊 孝史 非常勤講師 新規任用
菅原 健人 非常勤講師 新規任用
岡崎 金雄 非常勤講師 新規任用
遠藤 未菜 非常勤講師 新規任用
佐藤 隆 業務補助員 新規任用(8月1日)

第46回生(令和6年3月卒業生)進路先

※( )内は、全体における災害科学科の人数

Table with columns for university type (National, Private, etc.), recommendation type (General, Special), and total number of students. Includes sub-tables for National University, Private University, and University School.